

Q. 結婚

神は最初から人を男と女に創造し、キリストと教会の素晴らしい関係を表わすものとして結婚を定められました。しかし、神を見失ったこの世では、結婚が、神の定めた本来の聖なる関係からかけ離れたものになってしまい、人間中心のものとなり、多くの問題が生じています。私たちキリスト者は、本来あるべき結婚を聖書から知り、また教会内で聖書的な結婚がなされるように心がける必要があります。

1. 前提—本体はキリストと教会

結婚の本質はキリストと教会の関係にある（エペソ 5:31～32）。したがって、本当に幸いな祝福された結婚は、教会の成長、つまり、教会がキリストの花嫁として整えられていくことを求める中で導かれるのである。そこには、自分の幸せを目的とした結婚では決して得られない大きな祝福がある。

2. 独身…先ず求めるべきこと

- (1)神の国と福音のために独身の生涯を望むことは、尊いことであり、それができる人は、先ずそれを求めるべきである。（マタイ 19:10～12, 1コリント 7:7, 32～34, 38）
- (2)結婚によって陥りやすい私たちの弱さ
 - ①主と夫(妻)に心が分かれる弱さ（1コリント 7:32～34）②苦難を招く（同 28 節）

3. 結婚する理由…神の栄光のため

- (1)結婚は良いものである（ヘブル 13:4 1テモテ 4:1,3）
- (2)助け手の必要（創世記 2:18）
- (3)責任者の働き（1テモテ 3:2,12）
- (4)家庭を通しての働き（使徒 12:12 使徒 18:26）
- (5)不品行を避けるため（1コリント 7:2 1コリント 7:9）

4. 配偶者の決定

- (1)神の導きを求める（マタイ 19:6 ローマ 8:32 1ペテロ 5:7）
- (2)祈り…①目的について ②相手について
- (3)相談…①責任者と ②自分にとって信頼できる兄弟姉妹と ③親等
- (4)出会い…①集会内 ②他集会 ③責任者からの紹介やサポート団体 ④同僚や友人
- (5)結婚できる条件
 - ①相手が信者であること（2コリント 6:14～16 1コリント 7:39 申命記 7:3～4）
 - ②責任者の一致に基く（ヘブル 13:17）

5. その他注意事項

自分が好きな人や祈っている人について軽率に話すことは、健全な教会建設の妨げになることが多い。周りの兄弟姉妹も「誰が好き？」、「あの人どう？」と聞くことは慎むべきである。